

航空機を使った患者搬送

長距離移動で航空機を選択される場合の情報をお知らせいたします。

空港で借りられる車椅子の種類（一般搭乗）



空港の貸し出し車椅子



リクライニング車椅子



疲れた時 リクライニング車椅子はフルフラットまで倒れます。



※診断書の提出条件

※チケット購入、診断書の提出はPASパスで代行いたします。

- 医療用酸素ボンベを使用される場合 ■酸素濃縮器（POC）、人工呼吸器を使用される場合 ■ストレッチャーや保育器を使用される場合
- その他病状や体調が急に変化する恐れがある場合 ■病気、けがの治療や最近受けた手術などが航空旅行によりおからだに影響を及ぼすと思われる場合 ■出産予定日を含め 28 日以内の妊婦のかた ■その他、航空会社が必要と判断した場合。パルーン等の医療処置が見える場合、

一般搭乗での「患者搬送」 搭乗、離発着時、合計約 40 分～ 60 分 座位が可能な傷病者の方



自分で座位がとりづらい方にはサポートベルトの貸し出しもごさいます。



国内線ビジネスクラスのリクライニングシートの倒れる角度は 15 度程度になります。



エキストラシート 1 万～ 15,000 円追加で座席が取れます。離発着時は座席に座った状態

ストレッチャー搭乗での「患者搬送」 民間救急車両にて制限区域より搭乗



民間救急車両にて制限区域に入ります。専用の手続きがありますので、事前手配



制限区域内からリフト車にて航空機に乗り込みます。 ※大きめのタオルケット用意



機内への乗り入れの様様 スクープストレッチャー等で行います。



看護師など、付き添いは隣の席指定。離発着時はカーテンを開ける決まり



貸出本数に関係なく一区間 3,000 円 容量：400 リットル/本流量設定は 0.25 ～ 6.0 リットル/分の範囲で調整できます。



点滴、人工呼吸器など、医療機器の持ち込み OK 電源の保証なしバッテリーを用意する